

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームは「地域密着型サービス」であり、今後も「地域の中で」「地域の一員として」等の視点が、理念のどの部分に込められているのかを職員同士で再確認していく。	「地域の中で」「地域の一員として」の視点で支援しながら理念の共有と実践をする。	・入居者と外出等を行い、地域と関わりながら支援をしていき、職員同士で理念を再確認する機会をつくる。	12 ヶ月
2	26	今後も行動障害の背景を分析し、ご本人の思いや要望を記録していく。ご本人のできる事とできそうな事、留意点、趣味等をアセスメント用紙や計画に残すと共に、ご家族との話し合いを増やしていく。	今後もご本人、ご家族、職員が話し合いをしながら、行動障害の背景分析やご本人の思い等を情報共有し、記録として残す。	・ご本人、ご家族、職員が話し合いをして生活歴やご本人のできる事、できそうな事、思いや要望等を把握し、記録はセンター方式を活用する。	12 ヶ月
3	30	ご家族対応で受診していただいている事が多い。今後も医師から直接、職員が治療や療養上の留意点等を聞いていきたい。人員配置等を含め、職員が同席できる勤務体制を検討していく。	入居者の体調管理を行っていく為、主治医とより連携がとれるようにする。	・入居者の気になる症状が見られる時はご家族と同席する。主治医、ご家族、職員が情報共有し、体調管理に努める。 ・同席の必要がある時は勤務変更やその日の出勤職員で調整し、対応する。	12 ヶ月
4	40	配食や食器乾燥機の利用が増え、職員と一緒に食事の準備をする機会(役割)が減っているため、今後も以前のように入居者の役割を増やすと共に季節の草花を飾る等の雰囲気づくりを行う。	職員と一緒に食事の準備をする機会(役割)を増やす。 さらに食事を楽しむ雰囲気づくりをする。	・月に1~2回、入居者と昼食作りをする。 ・テーブル拭きや食器洗い、食器拭き等の入居者ができることを一緒に行う。 ・今後もおやつ作りをする。 ・季節の草花や装飾を活用し、季節感のある雰囲気をつくる。	6 ヶ月
5					ヶ月